

ヒヌマイトトンボの成体を確認!!

～市民の力で絶滅危惧種 I 類の復活を目指す～

自然の回復を掲げる荒川クリーンエイド・フォーラムは、2011 年度より絶滅危惧種の復活プロジェクトを始動し、かつて荒川に数多く生息していたヒヌマイトトンボ(環境省レッドリスト区分:絶滅危惧 I 類)の生息状況の調査を開始しました。2010 年度、荒川下流河川事務所の調査により、かつての生息地では絶滅が確認され、足立区の某所が同種の荒川最後の生息地であることが判明しました。同事務所は、今年度以降の予算確保が難しく、もはや市民団体の力で同種を守り抜いていくことが求められています。



今年 7 月 2 日に初めて見つけたメスの成体

全体が褐色を帯びており、羽化後間もない未成熟段階であることがわかる。3.0cm 程度と小さな個体であることから他種と区分される。また、メスは、胸部上面に斑点がないことが見分けの特徴。



密生したヨシ原と 僅かに浸る汽水を好む

密生したヨシ原に身を埋める調査者。ヨシ原の根元は僅かに汽水に浸っている。ヒヌマイトトンボはこのような構造的多様性を好み、生息している。

モニタリングの継続と密生したヨシ原を維持することが必要

荒川クリーンエイド・フォーラムは、潜在的な荒川本来の環境保全を念頭に置き、「絶滅危惧種の復活プロジェクト」と称してヒヌマイトトンボの保全・復活を掲げています。荒川流域に多数生息していた同種を復活させるには、現在の生息地だけでなく、複数あるかつての生息地にまで焦点を当て、同種が棲める環境づくりを行う必要があります。

行政の支援が限られる現状において、学識経験者や他府県の成功事例に学び、同種とその外敵等のモニタリング活動を継続していく予定です。また、ヨシが立ち枯れを起こす秋の終わりには、生息地に隣接するエリアにおいて、翌年のヨシの新芽を育むため、ヨシ刈りを計画しています。更に、一定の汽水が溜まるよう、生息地に配慮した掘削作業なども検討していきます。

【本件に関するお問い合わせ】

特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム(担当:糸岡・星野) 〒132-0033 東京都江戸川区東小松川 3-35-13-204
TEL : 03-3654-7240 FAX : 03-3654-7256 renraku@cleanaid.jp <http://www.cleanaid.jp>